

2013年2月22日

発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
E-mail
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ「清水みな子」で検索

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.6 1



市政アンケートにもとづいて要望 安全対策、路面舗装、カーブミラー設置



道路安全課長に要望書を提出し懇談



西部公民館にエレベーター設置



菅野公民館前に信号機設置

2月20日、西部地域（国府台支部、国分支部）は、「市政アンケート」に寄せられた要望を市に提出しました。道路改善や整備が主なものです。これまでも8回にわたり市に要望し20箇所以上が改善されました。

大塚道路安全課長に要望を手渡し、改善箇所の説明をしました。

〈国分地域〉

- ・国分3丁目のK宅沿いの路面が荒れている。
- ・国分寺の塀に突き当たるT字路に中型トラックが立ち往生。バス通り進入口に注意喚起の標識を。

〈中国分地域〉

- ・「ヤオコー」脇のカーブに「急カーブスピード落とせ」など警告表示を。
- ・中国分小から西部公民館周辺の主要な道路を

「タバコポイ捨て禁止区域」に。

〈北国分・堀之内地域〉

- ・小塚山アスレチック前の道路の安全対策を。生垣部分に歩道確保を。
- ・ベルクスとユアーズ駐車場のT字路に信号機か点滅灯の設置を。

〈国府台地域〉

- ・スポーツセンター端の公園に時計設置を。
- ・里見公園桜並木の途中、カーブミラーが一方しかついていない。反対側が危ないので付けてほしい。

・県道の歩道拡幅。

市議団の予算要望への回答

昨年11月28日、市議団は247項目の来年度予算要望を市長に手渡しました。その回答が寄せられましたので、一部紹介します。

＊低所得者が入れる特養ホームを増設すること
施設整備は計画にもとづき整備する。多くの高齢者が希望している、在宅での生活を継続できるよう必要な在宅サービスの充実につながるための相談体制や環境づくりを推進していく。

＊新たな保育園は株式会社の参入は認めないこと
国の方針で企業参入を認めているので、選択枠のひとつ。今後も待機児解消のために、市外の事業者にも門戸を開いていく。

＊市長の公約どおり、給食費の無償化を行うこと
目的は「子育て世代への経済的な公的支援」で無償化に必要な予算は約17億円。24年度は「義務教育期間中に3人以上在籍する場合は3子以降は無料化」としました。さらに慎重に検討していく。

2箇所で開催の新春のつどい



1月27日昼から、西部地域後援会の新春のつどいが開かれ43人が参加しました。3月に行われる県知事候補の三輪定宣さんが挨拶（写真）。

「県民ひとりひとりが大切にされ、人が輝く県政をめざしたい」。飛び入りでハーモニカ演奏など、和やかに、今年も頑張る英気を養いました。

2月9日午後からは、西部地域以外の後援会で「新春のつどい」を開きました。挨拶のあと、明乳争議団・

平木さんの御神楽（写真）、マジック、ビンゴゲームなど楽しみ、最後に寺尾さとし参議院選挙区候補が駆けつけ、共に頑張りたいと挨拶。



国交省と交渉する「会」メンバー

1月18日、「市川の特養待機者ゼロをめざす会」は、3回目の国交省・財務省交渉を行いました。今回は、曾谷6丁目の代替地が財務省へ移るのではなく、国交省の道路特別会計であるということがわかりました。そこで、国交省の裁量で、社会福祉法人に定期借地制度が利用できるかどうか、持ち帰り調べるというこ

とになりました。◇◇ 用地の具体的な作業は首都国事務所が行うことがわかり2月8日には、首都国事務所と懇談。用地担当の副所長はじめ5人が対応しました。「会」では「市川市に無償貸与してほしい」というものです。国有財産法では可能であるが、しかし「国としては前例がない。業務の範囲ではない」。やはり、市川市が増設に向けて、国に要望することが必要だということでした。

特養待機者ゼロをめざす会 国交省・首都国事務所と懇談

2月16日午後から、新婦人市川支部の支部大会が開かれました。私は支部委員として「市政報告」。

市議団の予算要望、特に強く要望したのが、足りない保育園と特養ホームの建設、地元経済を活性化させる住宅リフォーム条例の制定。予算の提案では、名称は変わりますが「あんしん住宅推進事業」が提案され、市長公約として保育園が6園整備（3園が株式会社）。

一方、大型プロジェクト推進、ガーデニング事業などに多額の予算を投入するなど、市民の暮らし応援予算にはなっていないと報告しました。

新婦人支部大会に参加し「市政報告」



新婦人支部大会

《主な活動報告 2月》

☆2月3日 尊采池にジュンサイを残そう市民の会が総会ひらく

はじめに会長が「夏の猛暑に草刈り、池の作業も大変なか、ジュンサイを育て残そうとやってきた。もっと市民に、会の存在をアピールしていこう」と挨拶。私は「自然環境ゾーンにフットライトをつける問題から会に参加しています。自然を守る団体はたくさんあるので、横のつながりを大事に自然を守っていきましょう」と、挨拶しました。

☆2月6日 市川市「明るい会」が初宣伝

3月17日投票でたたかわれる千葉県知事選挙では「憲法がいきる明るい千葉県をつくる会」から三輪定宣さんが立候補表明。市川市「明るい会」も2月6日、初めての駅頭宣伝を行いました。参加各団体から16

人が参加（本八幡駅北口）。11日にも市川駅北口で、2時間の駅頭宣伝をおこない、8団体20人が参加しました。25日には、県政学習会・総決起集会をおこない、大いに盛り上げていこうと話合っています。

☆2月17日 いちかわ女性後援会が宣伝

強風がふくなか、市川駅北口（ダイエー前）で、月一回の日本共産党いちかわ女性後援会の宣伝行動をおこないました。岡田県議や私、新婦人内後援会、医療後援会などから次々と、県知事選挙で県政を変えようと訴えました。財政力は4番目なのに、民生費は11年連続で全国最下位となっている千葉県。教育費も社会福祉費も46位。「知事を変えれば暮らしは良くなる」。4月にはアナウンス学校、5月には女性のつどいをひらき、7月の参議院選挙に向けた取り組みをすすめることにしています。